

令和6年度 理工学部学生と学部長との懇談会【質疑応答】

1. 学生生活関係：施設（講義室、駐輪場、生協、空調など）

学年	学生からの意見等	回答揭示
2	理工学部北門の閉鎖に伴い、銀河ホール横の東門から出入りが増え、危ないと思います。また、機械科学コースは17番講義室を使用する機会が多く、北門が使えないと不便に感じます。	<p>タバコの煙の有害性から喫煙は時と場所をわきまえることが、近年の社会的趨勢です。受動喫煙を与えないことが、最低限の喫煙マナーです。「望まない受動喫煙の防止」を目的とした健康増進法が施行され、病院や学校などの公共施設では敷地内の禁煙が当たり前となっています。禁煙場所を守り受動喫煙の防止に努める人を育成することが、教育機関である岩手大学の役割と考えます。</p> <p>今回の北門の閉鎖は、マナーを守らない一部の喫煙者が、多くの往来者や近隣住民に望まない受動喫煙の害を与えていることを、喫煙非喫煙に関わらず学生が自分ごととして考えてもらいたいとの思いもあつてのことです。北門が閉鎖されて不便になりましたが、学生が自らの問題として喫煙マナー（望まない受動喫煙の防止）に取り組むまで、閉鎖は継続します。</p> <p>学生の自主性を重んじる本学としては、この問題に関して罰則を設けることや監視を行うことは、相応しくないと考えます。加えて、喫煙マナーが問われていることへの解決として、「喫煙所の設置」は全学の方針にそぐわないと考えます。</p>
3	（発言しませんでしたでしたが、）北門の閉鎖についての見解や今後の予定について気になっていました。	
3	（発言していませんでしたが、）北門の閉鎖に関して、一番最初に話が出たため発言しませんでした。	
2	理工学部北門の閉鎖に伴い、銀河ホール横の東門から出入りが増え、危ないと思います。また、機械科学コースは17番講義室を使用する機会が多く、北門が使えないと不便に感じます。	
2	北門は、地震や火災、水害などでの災害時、上田四丁目の住民の避難場所へのルートになっていると思うが、北門閉鎖は防災・避難路としての観点から適切な対応が取られているといえますか。	
M1	北口を閉鎖したことにより、喫煙者は理工学部4号館側の西口に移動しているように思えますが、西口も閉門することを検討していますか？また、北門の閉鎖以外の方法を検討していますか？	
3	北門を開けて欲しい。タバコを吸ってない人に迷惑がかかるのは違うと思う。吸った人にペナルティをつけるべき。タバコ、吸っているせいで不便を感じている人が大多数。その方の不満を解消するという意味で何の対処をしたのか広めてはどうか。	
3	（発言する予定でしたが、）類似した質問をしている人がいたので、それに対する回答を踏まえて、北門閉鎖に関しての要望を下記に述べました。路上喫煙防止策として大学構内に喫煙所を設置できない理由を理解していない人が多いので、喫煙所を設置する声が多くあがったのだと思います。よって、大学のホームページなどでその理由を公開すべきだと思います。また、警備員が配備されている理工学部の正門では喫煙者が見受けられないことから、北門閉鎖後に喫煙者が増加したと見られる東西門においてもセキュリティを強化することは効果的だと思います。	

3	17番講義室の椅子が硬いので長時間座っているとお尻が痛くなるので、クッションをつけるなどの改善をお願いしたいです。	大学の予算状況を考慮しながら、前向きに対処を検討します。
M1	①証明書発行機の稼働時間を長くして欲しい。②現在は平日8:30～17:30の間で稼働しているが、③夜(例えば21時等)まで稼働させて欲しい。	証明書発行機についてご意見いただきありがとうございます。いただいたご意見について、発行機の稼働時間は大学ホームページ等で皆さんにお知らせしていること、また、利用される皆さんのご理解もあって、稼働時間が原因でご不便をおかけしている、との認識はありませんでした。職員不在の時間帯に発行機を稼働させた場合、故障や用紙不足の対応ができないなど、稼働時間延伸によるリスク・対応コストと当該時間帯の利用率が見合わない可能性が高いのでは？と考えております。過去に、学内の証明書発行機を廃止し、コンビニでの発行に切り替えることを検討しましたが、在学生にも発行手数料をお支払いいただく等しないとコスト面の問題が解消できないこと、また、情報セキュリティ面の懸念が払しょくできないことなどを理由に導入を見送ることとしました。いただいたご意見も踏まえ、コンビニでの発行を含め、証明書に関する皆さんの利便性向上を図っていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、証明書が必要な場面は、提出等までに時間的余裕がある場合が大半かと思えます。厳封が必要な場合もあると思えますので、余裕をもってご準備いただきますようお願いいたします。
M1	年に2回ほど廃棄物が建物前に捨てられていることがあると思うが、許可を得ればそれを持ち出せるようにして欲しい。研究等に役立てられるはずだ。	当事者間で了解を得た上で持ち出すのは構いません。ただし、回収業者の見積もりと実態が異なってしまうように、廃棄物の分別回収・集積期間終了後は絶対に持ち出さないでください。また、持ち出す場合は、必ず事務室にその旨を連絡してください。
2	空調を一定に保って欲しい。授業によって空調の機器が悪い。集中力に支障をきたす場合があります。	教室ごとに設定できますので、教室を使う人が、適度な室温になるよう管理していただければと思います。授業等の場合は、その都度先生に直接お伝えください。また、大人数が同じ部屋にいる場合、人によって適切と感じる温度が異なるため、ご自身で調節できるような自衛策を講じることもご検討ください。

M1	21番講義室の後ろの方のエアコンが使用停止のメモが貼られていて使えない。教室が広いので、前2台では間に合わず、使えるようにしてほしい。	21番講義室については、修理が完了しました。学部内では20年以上前から動いている機械があります。特に修理に多額の費用がかかる案件は、全学の限られた予算の中で、優先順位を付け対応を行っています。
M1	7号館の研究室にエアコンがついておらず、デスクワークを学食で行っている学生がいる。7号館にもエアコンを設置してほしい。	エアコンの新規設置については、学部の予算状況を考慮しながら善処します。
M1	5号館の空調が真夏と真冬にエラーを起こして使えなくなる。使いすぎの可能性もあるので、設定温度等全体で周知してほしい。	理工学部全体にエアコンの使い方について周知していきます。
3	昨年この懇談会で学生から要望があったと思いますが、24時間勉強できる環境が欲しい。他大学では開放している事例がある。建物の管理上の問題で無理だという回答を頂いていたが、それ以外の理由があれば教えて欲しい。	24時間入退室可能な自習室を設置している大学は、講義室や建物の設計がそれを可能にしている場合が多いと考えられます。本学部においては、講義室が多くの実験室や教員の居室と同じ建物内、あるいは渡り廊下で接続しているため、内部情報保護やセキュリティの観点から24時間の開放は難しい状況です。また、図書館も同様に無人で開館できる構造ではなく、セキュリティ上の問題から24時間開館には、必ず人員を配置する必要があります。開館に伴う光熱水費などの費用も発生するため、実施は困難です。その代わりに、12番講義室やリフレッシュルームを平日の夜9時まで開放しており、試験シーズン中は休日・祝日にも開放を行っています。生活リズムを整え、効率的に学修を進めていただければと思います。
3	自転車での往来が危ないため、校内に道路脇のような自転車専用通路を設けて、歩行者と自転車の道を明確に分けるようにするというのを検討していただきたいです。	教職員による自転車交通指導を通じて、現状の交通量を把握し、具体的な対策を検討してまいります。また、全学との調整が必要となりますが、他大学における類似の事例も参考にしていきます。基本的に、大学構内を含め道路上では歩行者が優先されるべきですので、引き続き自転車マナーの順守をお願いいたします。
3	知能メディア情報コースの近くの駐輪場が狭くなっており、2段になって道路上にはみ出している列も存在するため、拡張をしていただきたいです。	ご指摘ありがとうございます。安全性と利便性の観点から、駐輪場の整備について長期的に改善していきたいと思っています。

2. 経済生活関係：授業料免除、奨学金など

学年	学生からの意見等	回答揭示（案）
2	<p>奨学金の種類をもう少し増やして欲しい。（例：理工学部生で留学を希望する者に対する奨学金、一定以上の研究成果を残した大学院生への奨学金など。）</p>	<p>理工学部独自の支援事業として以下の3つの事業があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル理工系人材育成支援事業 国際研修に参加するため、もしくは海外で開催される国際会議、海外でのインターンシップ、研修等に参加するため自費で渡航する場合、学生にその渡航費の一部を支援する制度です。 ・特任研究員雇用支援経費 博士課程または博士後期課程学生で特任研究員となる方を対象にその雇用経費を補助する制度です。 ・岩手大学理工学部修学支援奨学金（給付型） 学部、修士又は博士課程の2年生以上で、学力、語学力及び修学意欲が高く優秀と認められる方に給付する制度です。 <p>以上の他、大学独自の奨学金として以下の奨学金があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手大学イーハトーヴ基金修学支援奨学金 経済的支援を必要とし、かつ、学業優秀な学生に対して、修学・生活支援を目的として奨学金を給付する制度です。 ・法科大学院進学者地域貢献奨学金 北東北三県の弁護士過疎の課題を解決すべく、本学出身者のうち、将来弁護士活動を目的として法科大学院に入学した者に対して、奨学金を貸与する制度です。 ・博士課程進学者支援奨学金 研究意欲のある学業優秀な者を対象に、大学院博士課程への進学を促し、より一層研究に専念できる環境づくりを支援する給付型の奨学金制度です。 <p>これ以外の支援については、予算やニーズを勘案しながら常に検討が加えられています。</p>

3	大学生協の購買商品を学生を支援する意味で安くして欲しい。コンビニエンスストアの商品よりも価格設定が高いものもある。	<p>(岩手大学生協から回答をいただきました。)</p> <p>大学生協の購買の仕入れは、全国の大学生協で窓口を一本化してメーカーと交渉しております。価格が抑えられるよう努力しておりますが、購買のような店舗は基本的にたくさん仕入れるほど安く提供できます。コンビニエンスストアと比較しますと店舗数が少ない分、仕入れの総量も少なく、物流にもコストがかかってしまうのが現状です。教材は個々の大学で必要なものに差があり、まとまった量での交渉がしにくくなっております。厳しい状況ではございますが、大学生にたくさん利用してもらいたいと、ポイント企画や期間限定特価にご協力いただいているメーカーもございます。純文具はメーカー希望価格よりも安い価格で販売しております。仕入先で取り扱いのある商品であれば、お取り寄せや品ぞろえのリクエストにお応えすることも可能です。</p>
---	---	--

3. 教務関係：講義、成績など

学年	学生からの意見等	回答揭示（案）
2	教養教育科目の集中講義での抽選において、特別プログラムを優先的に当選できないでしょうか。	いただいたご意見について特別プログラム、講義の担当者に伝え、必要な改善について検討します。
2	入学式でコースごとに固まって座れたら友人関係の幅が広がると思うので座席を見直していただけないでしょうか。	入学式では限られた時間・人員の中で、保護者の方を含め、2,000人近くもの来場者を、安全かつ迅速に誘導することを最優先に運営したいと考えております。入学して早くから友人と関係を築かれないというお気持ちは理解できますが、以上の理由からコースごとに座席配置をするという要望にお応えすることは難しいと考えています。式典とは別に用意されている学部やコース等の新入生オリエンテーション等を活用して、新たな友人関係を築いていただければ幸いです。

M1	<p>修士課程の授業（特に一般教養）のオンデマンド化をお願いしたい。生命系の実験はスケジュール管理が難しく、授業とバッティングすることがあります。実験による欠席に全く配慮なく欠席扱いとなると評価はかなり低くなります。実験の空き時間がない訳ではないため、各自が自由に受講可能なオンデマンド形式をお願いしたい。コロナ期間中のオンライン授業形式に対応できたのであれば、実現可能だと思います。</p>	<p>専攻教務委員会に持ち帰って、提言があったことを伝え、配慮を依頼します。教科担当教員にレポートなど代案交渉をしてみてください。必要に応じて指導教員に口添えを依頼するのもいいかもしれません。オンデマンド化に関しても提言があったことを伝えますが、対面授業を重視する教員もいるため難しい部分があると思います。様々な人（教員）がいて、それ方たちの方針に応じて柔軟に対応することも社会に出たときに必要なスキルです。</p>
M1	<p>大学院のイノベーション科目は、実質的に所属コースに近い内容が選ばれるため、専門科目と大差ないと感じる。イノベーション科目は不要なのではないか。</p>	<p>文科省の方針、全学の方針がこれらの教科を推進しており、難しい面がありますが、専攻教務委員会に持ち帰って、提言があったことを伝えます。</p>
M1	<p>集中講義の中止の連絡が遅い。前期集中の科目の中止の連絡が7月なのは困る。前期集中科目は、日程調整が必要なためかなり早期に予定が決まっていると思う。生徒側としても、集中講義込みの前期の時間割を組んでいるため、せめて履修訂正期間が終わるまでには中止の連絡が欲しい。</p>	<p>関係教員に早めに周知するように伝えます。教科の事情もあると思いますので、極端な場合は所属コースの教務担当者に問い合わせてください。</p>
3	<p>TOEICによる単位互換認定を、必修科目の英語コミュニケーションのみではなく、選択科目の英語発展などでも認めていただきたいです。</p>	<p>英語発展についてのご意見ありがとうございます。英語発展は2年生用選択科目として、TOEICコースに加えて、学術英語コースを提供しています。TOEICで高得点を獲得する段階まで到達していたら、ぜひ学術英語コースを選択してください。</p>
2	<p>私が所属している「数理・物理コース」は、コース名の割に数学の授業が少ないため、自分のコースで開講されている授業に加えて他コースで開講されている数学の授業も十分に学ぶために、他学科や他コースの単位互換できる単位数を10単位よりも増やして頂きたいと思います。</p>	<p>専門科目については、選択科目であっても、コースに関連する内容を系統的に学習するために開講されているものですので、基本的には、定められたコース専門科目を履修すべきと思います。今のところ自コース以外の科目の単位認定の上限を変更する予定はありません。ただし、真にその必要性が認められた時には検討したいと思います。</p>

3	<p>数理・物理コースの履修教科について、数学や物理に特化した教科を増やすことを検討して欲しい。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。質問内容から推察しますと「同学科別コース：マテリアルコースとの共通科目を減らし数理物理コースの科目を増やしてほしい」という要望と理解します。当コースは「物理・材料理工学科」という学科名からも判断出来ますように物理と材料を学問教育基盤とした学科・コースです。本学本コースの教育理念も「物理数学・物質科学・材料科学の分野に関して広い知識と深い専門性を持ち実践的な問題解決能力を備え、豊かな人間性と国際感覚を持った人材育成」とあり、本コースが求める学生、育成、輩出したい人材として掲げております。従いまして特化した科目を増やすと現行のカリキュラムバランスが崩れ、偏った教育内容になる側面、恐れがございます。他コース、他学科の科目も履修出来ますのでシラバスを上手く活用しながら自身で時間割を組んでみてください。その際、相談がある場合は、遠慮なく教員を訪ねてください。</p>
2	<p>教養科目の授業内容について、広く浅く多くの情報を提供するよりも、特定のトピックに焦点を当てて深く掘り下げた方が効果的だと感じています。学生自身の経験から、授業で教授が興味を持っていることや、個人的な見解を交えた講義は、特に印象に残りやすく、学びが深まると考えています。また、複数の教授が同じ講義を担当する際にも、それぞれの教授が持つ独自の視点や解釈が反映された内容が提供されることで、学生にとってより興味深い学びの機会となると感じています。そのため、教養科目の授業では、トピックを絞り、深く探求する形式の方が効果的であり、教授の個性が反映された授業が学生にとってより価値があると思ひ提案しました。</p>	<p>いただいたご意見を今後の授業改善の参考にさせていただきます。</p>
3	<p>期末試験についてですが、試験当日だけでなく試験一週間以内にコロナやインフルエンザなどの診断書を入手できるような体調不良になった場合は別日に試験を実施していただけると助かります。</p>	<p>そのような事態への対応は各教員の裁量にゆだねています。場合によっては延々と試験を行わなければならない可能性もあり、慎重に検討します。試験の担当教員、必要に応じて教務委員や学務課に事情を相談してください。</p>
M1	<p>学生と教授のコミュニケーションを取る機会を増やして欲しいです。特に研究室配属される前に教授とコミュニケーションをとれると、自分の研究を行うにあたってとてもいいことだと感じた。</p>	<p>いただいた意見について各コースで教員に伝えるようにします。</p>

2	<p>(発言しませんでしたでしたが、) 成人の日の次の日は休みにして欲しい。地元が遠い人だと授業に間に合わせるのが大変です。</p>	<p>成人の日は、皆さんの意識が変わる大きな節目で、入学式や卒業式と並ぶ大切な日だと考えています。本学入学者の約4割は県外出身者であることを考えると、成人の日翌日を全学休講日にしてほしいと思う気持ちはわかりますが、大学祭等全学をあげての行事ではなく、式典等に参加される学生以外にとっては、通常の祝日であることを考えると、要望にお応えするのは難しいと考えますので、ご理解ください。</p>
3	<p>(発言しませんでしたでしたが、) 化学コースに限った話なので発言は控えましたが、本コースの学生実験はなぜ3年生から開始し、週3日で行うのか?という質問に付随した要望を下記に述べました。本コースの学生実験はレポート作成の条件が厳しく、じっくり取り組むことができなかったと個人的に思いましたし、周囲の人も言っていました。短期間で行うことによって実験操作の習得や学習効率は良かったと思いますが、自主的に勉強する時間は勿論、勉強以外の活動に取り組む時間もほとんど確保できず、実験内容が2年前期までに学習済みのものが半分以上を占めていると感じました。以上を踏まえて、2年後期から内容を学習済みの実験を開始する、それが困難ならば、レポート提出期限を一週間以内に設定している教員に期日を延長する、あるいは3年生から開始するにしても実験準備日や説明会、予備日を調整して週2日で行うようにしていただけると、学生としては負担がかかりすぎないので有難いです。</p>	<p>学生実験の目標の一つに、卒業研究に必要な基礎的な技術習得があります。学生実験の内容が多いのは承知していますが化学技術者になるためには習得すべき技術ばかりです。岩手大学だけでなく他の大学でも化学科では同様であると思います。一生懸命取り組んでください。</p>
3	<p>(発言しませんでしたでしたが、) この学生と学部長との懇談会の開催時期に関する意見として私は該当しないのですが、補講期間に開催すると期末試験と被って参加できない、あるいは参加したけれど試験勉強に注力できない学生が少なからずいたのではないかと思います。補講期間の次の週などに開催していただけると、参加しやすくなると思います。</p>	<p>これまで、補講期間の翌週に実施してきましたが、高校教員招へい事業やオープンキャンパス等の各種行事との兼ね合いもあり、毎年日程調整に苦慮しています。今年は通常と異なる日程となってしまうかもしれません。学年暦を基本に予定を組んでいますが、必ずしも補講期間後に開催できない場合もあることをご理解ください。</p>